



小中学校における統合型校務支援システムの導入促進について

- 統合型校務支援システムは、児童生徒の基本情報、出欠管理、成績管理、成長や健康状態の管理、教職員間の情報共有や電子掲示板などで構成され、教職員が校務を効率的かつ効果的に処理できるシステムである。
- 文部科学省は、今後5年間で統合型校務支援システムを学校に100%整備する方針を示し、整備の進捗状況を毎年調査し公表するとしている。
- 本県ではこのシステムを導入している市町村は、半数にも満たない状況で遅れている。
- 県下の小中学校で共同活用できるシステムの導入は、教職員の人事異動後も同じ方法で校務処理が可能となり、働き方改革にも効果がある。導入を市町村教委に委ねるのではなく、県教委の積極的な取り組みが必要である。

答弁) 教育長(要旨)

- 統合型校務支援システムは、校務の煩雑さを軽減し、教職員が児童生徒と向き合う時間や教材研究の時間を確保するために有効である。
- 国では今年度から新たに、県単位での導入を支援するモデル事業が実施されており、今後市町村の要望や意見を踏まえて、必要な機能の研究を進め、全市町村参加のもと、小中学校への県単位での導入が進むよう取り組んでいく。



活動の記録

- 3/24(土) 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(空宙博)リニューアルオープン記念式典に出席。関係者と意見交換。
- 4/21(土) 第8回高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン開会式・歓迎レセプションで挨拶。



水野よしちか HPも是非ご覧ください。

ご意見・ご要望・ご相談 お寄せ下さい

行政への要望や生活相談など、お気軽にお寄せ下さい。法律相談のご紹介もします

TEL/FAX) 058-215-8195 E-MAIL) yoshmzn@gmail.com



朝の街頭演説 実施中! 通算 1,100回 を超えました!

以下の場所で、街頭演説を実施しています。見かけたら声を掛けて頂ければ幸いです。

- 月曜日……国道256号線と環状線の「福光東2東」交差点 AM8:00~
- 火曜日……マサ21前の「正木古川東」交差点 AM8:00~
- 木曜日……忠節橋を南進。西野町交差点 AM8:00~
- 金曜日……西 岐 阜 駅 前 AM7:30~



ごあいさつ

皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年は特に厳しい暑さとなり、連日多治見市をはじめ、岐阜県が日本一暑いまちとして話題となりました。また平成30年7月豪雨では、本県でも甚大な被害が発生しました。被災された方へ、お悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、私は5月8日に開催された県議会第2回臨時会において、厚生環境委員会副委員長を拝命いたしました。環境保全、文化芸術の振興、保健衛生、社会福祉、少子化対策、女性の活躍推進など、県民生活に直結する諸課題に対し、委員長を補佐し活発な審議や調査が行われるよう努めてまいります。

皆様のご指導ご鞭撻を、何卒よろしくお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 水野吉近

平成30年7月豪雨災害の対応

「平成30年7月豪雨」では7/27現在で、死者1名、重傷2名、軽傷1名、全壊12、半壊203、一部損壊107、床上浸水205、床下783棟の甚大な被害が本県に発生しました。

水野よしちかは、7/8(日)の朝、関市津保川の氾濫により、同市上之保地区で浸水被害が発生しているとの情報を受け、直ちに関市議会議員と連携をとり、現地の被害状況を把握。国会議員と共に同日の午後に現地に入り、被害の状況調査と被災者の皆様へのお見舞いと要望の聞き取りを行いました。被災者からは「あつという間に家の中に浸水し、避難できなかった」「避難勧告の出し方に課題がある」などの声を伺いました。その後、河川の氾濫によりアスファルトが破壊され、通行不能となった県道の被災状況を調査しました。

そして翌日の7/9(月)の午前には、古田肇岐阜県知事に対し、緊急の申し入れを行いました。

申し入れの内容は

1. 床上浸水など甚大な被災者への生活再建支援
2. 道路など県民生活に関わる被害の早期対処
3. 観光・農業・林業施設などの復旧および経営支援
4. 損壊した河川の護岸などの早期修復

の4点です。

これを受け古田知事は、被災現場での聞き取り調査や、安倍首相に直接会い復旧支援を要望するなど迅速に対応し、被災者生活・住宅再建支援補助金をはじめとする支援策を、予備費から約2.3億円を使い執行をすることを決定しました。今後はこの災害の検証と対策に取り組みます。

